

## 2015年度 関西独自消費材の放射能検査結果

### ▶ 関西独自材の放射能測定結果

生産者	対象消費材	産地	検査日	検査機関	Cs134	Cs137	セシウム合計
大矢商店	生いも板こんにやく	栃木	2月17日	生活クラブ	ND	ND	ND/8

【検査結果の見方】 単位：Bq/kg 「検出値/検出下限値」で示します

半減期の長いセシウムに絞って検査をしています。セシウム134、セシウム137の合計値で「検出限界値」を記載します。

検出値欄のNDは、検出限界値未満での不検出を表します。

※13年4月から生活クラブ飯能DC検査室に導入した5号機はセシウム137とセシウム134の合計値で算出することにより感度を高めています。そのため、連合会の検査ではそれぞれの数値は表示されません。

※2015年度の関西独自材放射能検査は、上記検査で終了です。関西独自消費材で放射能が検出されたものはありませんでした。

※2016年度の関西独自消費材については、引き続き同程度の内容の放射能検査を実施していきます。

### ▶ 生活クラブ連合会の放射能測定結果

#### 3月は1,009検体の放射能検査を実施しました。

3月1回～5回（2/29～4/3）の放射能検査は飯能DCと戸田DC、放射能汚染食品測定室及び外部機関で計1,009検体の消費材検査を実施しました。検査の詳細情報は、生活クラブ連合会のWEBサイトの放射能検査結果Web検索をご参照ください。 <http://www2.seikatsuclub.coop/housha/>

1,009検体中、973検体（96.4%）は放射性セシウム不検出でした。

検出はいずれも関西では取扱いのない生椎茸5品目18検体、レンコン2品目8検体、舞茸2品目5検体、さつまいも2品目4検体、丸干し芋1品目1検体の12品目36検体で、自主基準値を超えた消費材はありませんでした。

## 放射能の自主基準値を2016年4月配達品 から従来の2分の1に引き下げます。



4月から

**放射能の自主基準値を大幅に引き下げます**

自主基準値を  
現行の1/2以下に!

検出下限値の目標を  
新たに設定!

※詳しくは裏面をご覧ください。

単位: Bq/kg

生活クラブの自主基準値			旧基準値	国の基準値	
食品区分	新基準値	検出下限 目標		食品区分	基準値
すくすくカタログ掲載食品 (乳幼児食品含む) 6月開始	不検出	1	10	乳幼児食品	50
飲料水※	5	1	10	飲料水	10
牛乳(原乳)・乳製品①※				牛乳	50
米	10	2.5	20	一般食品	100
鶏卵・鶏肉・豚肉・牛肉	25	6	50		
乳製品②※・青果物・魚介類・加工	50	10	100		
生椎茸					

\*生活クラブが目標とする放射能検査の「検出下限値」は、他団体とは異なり、セシウム134 と137 合計です。  
しかも、自主基準値の1/4以下の精度です。

## 新しい放射能自主基準で検査開始

これまでの自主基準値を大幅に引き下げた新基準値の詳細は、3月21日の週にお配りした「生活クラブOPINION放射能汚染への取組み」に掲載されています。今一度、お手にとってご覧ください。

### ➤ 新自主基準では、食品分野の放射能管理を徹底推進

新しい自主基準を検討したのは、生活クラブ連合消費委員会の元に設置された自主管理部会です。ここでの討議や組合員意見では、非食品分野の放射能基準も設定するように求める声が多くありました。そこで、自主管理部会では提携生産者の協力を得て、木製品おもちゃの原材料の放射能検査を実施しました。その結果は下表のとおり、いずれも不検出でした。今回の基準改訂では、非食品分野の基準設定はしないで、まず食品分野の管理を徹底推進することになりました。

原材料	産地	セシウム134		セシウム137		セシウム合計	
		検出値	検出下限	検出値	検出下限	検出値	検出下限
マツ	北海道	不検出	3.5	不検出	3	不検出	6.6
シナ	北海道	不検出	5.3	不検出	7.3	不検出	12.6
カエデ	岐阜県	不検出	7.3	不検出	6.2	不検出	13.5
セン	岐阜県	不検出	5.4	不検出	4.6	不検出	10.0
トチ	岐阜県	不検出	7.6	不検出	10	不検出	18.0
ブナ	北米またはヨーロッパ	不検出	4.0	不検出	3.6	不検出	7.6